

(仮訳)

## 北朝鮮における人権の改善に向けた協力強化に関する共同声明

2024年10月18日、米国、韓国及び日本は「キャンプ・デービッドの精神」に則り、北朝鮮における人権の尊重を促進するために集った。三者は、北朝鮮における人権状況の改善は、朝鮮半島における永続的な平和の達成に不可欠であることを再確認した。今年、北朝鮮の人権侵害を人道に対する罪に相当すると結論づけた北朝鮮における人権に関する国連調査委員会(COI)による報告書が発表されてから10周年となる。

北朝鮮の体制は、依然として世界最悪の人権侵害を行っている主体の一つであり、北朝鮮内外で人権侵害や虐待が行われている。即決処刑、暗殺、日本、韓国及びその他の外国籍の人々を含む拉致、拷問、並びに違法かつ不当な拘束に関する、定期的で信頼性の高い報告がある。

今日、北朝鮮における人権状況が悪化し続けている中、米国、韓国及び日本政府は、国際社会に対し、北朝鮮の人権問題へのアプローチを、人権侵害や虐待の監視から説明責任の促進へと、行動に向けて転換するよう要請する。

米国、韓国及び日本は、北朝鮮における人々の人権と福祉の促進に対する我々のコミットメントを再確認する。それにあたり、我々は、北朝鮮における独立した情報へのアクセスを増大し、北朝鮮における人権侵害の責任者への説明責任を促進し、北朝鮮における人権侵害に対する国際的な認識を高めるために北朝鮮の脱北者や難民の発信を助けるとともに増幅し、また、拉致被害者、抑留者、その他不当に拘束されている者、帰還していない捕虜及び離散家族の問題の即時解決を強く求めるため、共同の取組を強化する意図を有する。

日本は、2014年の国連のCOI報告書の勧告に従った、米国及び韓国による北朝鮮の人権問題に関する新たなコンタクトグループの設立を支持する。また、三者は、COI報告書で指摘されたように、北朝鮮内及び国際的に行われている北朝鮮による強制労働の使用による広範かつ深刻なリスクに対処するための取組を推進することでも一致した。各国政府は、北朝鮮からの脱北者コミュニティの持つ計り知れない才能と強さ、そしていまだに北朝鮮に残る家族を展示するイマーシブアート展覧会の実施に向けた取組を支援する。

米国及び日本は、自由で平和な繁栄する朝鮮半島という尹大統領のビジョンを支持するとし、自由で平和な統一された朝鮮半島への支持を改めて表明した。「キャンプ・デービッドの精神」に則り、日米韓三か国政府は、ビジョンを共有し、我々の時代の最大の難題に直面しても臆せず、北朝鮮における人権の課題に今、そして将来にわたって共に取り組むとのコミットメントの下で団結した。